

経営体の概要

- ・所在地：栃木県高根沢町
- ・経営体名：個人経営
- ・栽培作物・作付面積：水稻・26ha（2024年）
- ・労働力：3人（本人・パートナー・母）

導入技術

- 水位センサー（(株)farmo製）
遠隔から水田の水位を携帯端末等で確認可能。
- 自動給水ゲート（(株)farmo製）
上記の水位センサーの情報から、水田水口の開閉を遠隔操作できる。



水位センサー（写真左）および
その測定画面（写真右）



自動給水ゲート

導入経緯

- Uターン就農したため、経験・感覚に頼る部分の多い農作業に苦労しており、農作業等の数値化、見える化による作業効率の向上が課題であった。
- そこで、水田の水管理作業を省力化することを目的に、2018年から水管理システムを導入した。

取組の特徴・効果

- スマートフォン・タブレット端末から水位及び入水の要否がわかるため、水管理作業の移動が必要最少限となった。
 - ・ 見回り回数：導入前55回⇒導入後30回
 - ・ 累積移動時間：13時間⇒6.5時間
- 水管理を適確に行ったことにより単収が向上し（導入前：7俵/10a⇒導入後：9.5俵/10a）、所得も向上した（約30,000円/10a）。

⇒ 取組の結果、水管理作業を見える化することで栽培技術の見直しと反省が容易になった（記憶から記録へ）。

経費(燃料、電気、資材)の削減、自動制御による作業効率化によって、導入経費を差し引いても所得向上に繋がった。

<今後の課題>

ドローンや温度センサーを利用した生育診断、品質予測等を行い、更なる収量・品質向上を目指す。